AYA BODY ARCHITECTURE

学校の手引き　受講生用

黄色いマーカー部が新しく変更になった部分です

2026年10月13日　更新

目次

学校のルール.....1
契約書類.....2
教材.....3
有料レンタル.....4
単位認定用紙とカルテ.....5
ワンコインレッスン.....6
単発受講（ドロップイン）.....7
卒業課題.....8
フォーマット.....9
受講証明書.....10
行動規範.....11

1

学校のルール

受講の前に

入学者は、初回受講の前までにオフィシャルのサイト内の学校の手引きを必ず確認してください。学校の手引きは常に更新をしています。在学中は定期的に内容の確認をしてください。パスワード: ayabody

カリキュラムとスケジュール

カリキュラムは常に改良をおこなっています。そのため、入学時点のカリキュラム（授業や教材）を保証するものではありません。カリキュラムやスケジュールはウェブサイトから確認できます。授業内容やスケジュール、担当講師は、予期なく変更する可能性があります。受講前に必ずウェブサイトを確認してください。

※DAY1～10といった数字がついていますが、座学カリキュラムは初級～上級といった構成ではありません。またDAY1～29を網羅することを前提としていません。必要なDAYを選んで受けてください。例えばDAY5実技が受けたいなどの調整については補講をご利用ください。

※ヨガアライアンスの改定に伴い2024年にカリキュラムが一部変更および追加になります。その際には2024年以前の入学者の方には新しいテキストはデータで配布いたします。希望者には特別料金で購入も可能です。2024年までの入学者はRYT200の必須単位は48単位です。RYT500の必須単位は111単位です。これを超えることはできません。

事前予約について

入学後の講座受講時の予約は不要です。場合によっては予約が必要な講座もありますのでご注意ください。予約が必要な講座については当日のキャンセルにつき理由は問わずキャンセル料（2,500円）がかかります。可能性がある場合は前日までにキャンセルをしてください。なお、前日と当日の連絡は電話で行っていただく方がスムーズな場合はあります。メールで連絡する場合は事務局の返信を以てキャンセル済といたします。

初回受講の予約について

各講座の初回受講は土日を除く3営業日前までに予約が必要です。
参加には受講許可証が必要です。※オンライン授業を省く

お知らせに関して

学校からのお知らせは、ウェブサイトや公式LINEを通して行います。通常は学校から個人にお知らせをすることはありません。自然災害や人災、公共交通機関の不通および、講師又は生徒が安全に通学できない場合など、やむなく休校になる場合は、ウェブサイトを通じて発表を行います。受講前には必ずウェブサイトを確認してください。学校方針とクラス内での情報が異なる場合や、信頼性に欠ける場合は、学校事務局に直接電話をして確認してください。また、授業中であっても帰宅時の安全確保ができない可能性がある場合には途中で閉講します。

最新のお知らせ

http://www.aya-bodyarchitecture.net/category/news/

オフィシャルLINE　※必ずご登録ください

アカウント：@ayabody

緊急連絡やお得な情報を配信しています。必ずチェックしてください。

2015年1月より

各講座は該当講座の授業を、必須単位数満たせば修了となり、試験や課題がある場合はそれらをクリアすることで、全講座においてディプロマが取得できます。カリキュラムにはDAY1などの数字がついていますが、数字の重複や受けない数字があっても構いません。トータルで何回受けたかを単位として数えます。必須単位以上の受講の際には、どの講座も別途受講料1授業17,000円（税込）が必要です。

お子様の同伴受講

RPYTは健康な妊婦さんや、未就学児（小学校へあがるまで）の同伴受講が可能です。ただし、授業の妨げになるような場合は、退室していただくことがあります。RCYTは、小学生（中学生以下）までのお子様の同伴受講が可能です。

単位取得

<u>全米ヨガアライアンスカテゴリ</u>

RYT200は実技29回と座学29回、RYS300は該当講座から63単位、RYT500は該当講座から121単位、RPYTはRPYT講座から25回、RCYTはRCYT講座から28回を満たした者にディプロマを発行します。※2024年以前の入学生はRYT200は実技24単位、座学24単位、RYT500は111単位が必須単位数です。

RYT200　実技29単位、座学29単位

2024年以降の入学者は必須受講回数は、実技29回と座学29回です。DAY数は問いませんし、DAY1～DAY29を網羅する前提でもありません。29回を好きなカリキュラムから選んでください。カリキュラムは、RYT200とヨガビジネス講座の中から選べます。2026年4月より一部の座学(実技を伴わない内容）はオンライン(アーカイブ学習）のみの開講となります。オンライン授業の良さをぜひとも経験してください。該当DAY:DAY1～10とDAY13～15とDAY29

RYS300　63単位

必須受講回数は63回です。DAY数は問いません。63回を好きなカリキュラムから選んでください。RYT200やRPYTやRCYTやヨガビジネスから選べます。※特別講座は除く。

RYT500　121単位

必須受講回数はDAY数や、実技や座学を問わず、121回です。RYT200やRPYTやRCYTやヨガビジネスから選べます。

RPYT　25単位

必須受講回数は25回です。25回の内訳は問いません。実技と座学の割合も問いません。※最大10単位は別講座からも選択可能です。

RCYT　28単位

必須受講回数は28回です。28回の内訳は問いません。実技と座学の割合も問いません。※最大10単位は別講座からも選択可能です。

ヨガビジネス講座カテゴリ

各ヨガビジネス講座は、同講座を5回受講した者にディプロマを発行します。RYTの単位としてカウントできます。事前にカリキュラムを確認し持ち物などをご準備ください。定期開催ではありませんのでスケジュールにご注意ください。

アーユルヴェーダアドバイザー養成講座　5単位

シニアヨガインストラクター養成講座　5単位

フィジカルトレーナー養成講座　5単位

アシュタンガヨガインストラクター養成講座　5単位

アロマヨガインストラクター養成講座　5単位

リストラティブヨガインストラクター養成講座　5単位

心理学コーチング養成講座　5単位

椅子ヨガインストラクター養成講座　2単位

その他講座　必要に応じた単位数

各講座に応じて必須受講回数を設けます。ヨガビジネス講座はRYTやRPYTやRCYTの単位としてカウントできます。

オンライン講座

お申し込みの該当講座のみ参加および単位取得できます。単位取得が完了した場合は受講猶予期間内であっても視聴や参加ができません（補講を除く）。また、受講猶予を過ぎた方も視聴や参加ができません（補講を除く）。オンライン授業は途中参加や離脱ができません。最初から最後まで参加してください。1単位の認定を行いますので端数の単位認定はできません。

オンライン受講認定方法

オンライン授業をお受けの方は受講中に出欠を確認します。授業に参加いただいた時点で1単位とみなします。出欠名簿は事務局で管理をしていますのでご自身で何回受講したかは管理をしていただくようにお願いします。必須単位をオーバーしてのご受講が認められた場合は別途受講料を請求いたします。※受講認定メールの配信は2026年6月末日で終了しました。

アーカイブ配信

リアルタイムオンライン授業の参加者がゼロの場合は授業の提供ができません。開催できなかった授業についてのアーカイブ提供はできませんのでご了承ください。また資料の提供や質問についてもお受けすることができません。アーカイブ学習は開催日から10日以内の講座につき受け付けます。ご希望の方はウェブサイトの在校生の問い合わせフォームより氏名・ID・講座と授業日をお知らせください。アーカイブ学習の視聴は授業のあった日から30日以内です。

2026年7月より最近開催した授業のアーカイブ学習をご希望いただいた場合は動画のURLをお送りした時点で1単位とみなします。必須単位をオーバーしないように十分注意してください。また在校生の方には、単位の取得有無を問わず座学のアーカイブを無料提供いたします（座学見放題）。（例）RYT200在校生の方はRYT200座学ア

ーカイブを提供。RPYT 在校生にはRPYT 座学アーカイブを提供します。ご準備がないDAYもございますのでご了承ください。座学アーカイブ見放題が必要な方はサイト内の問い合わせフォームよりご連絡ください。見放題において単位認定を必要とする方もお手続きは不要です。2026年6月末日までアーカイブ学習者には感想文のご提出を求めておりましたが同年7月以降は感想文のご提出は不要です。

おためしオンライン講座

オンライン授業の視聴をご希望の場合は、お申し込み講座・お申し込み外講座を問わずお一人様につき3回までとなります。3回を超えてご視聴された場合は確認次第ご受講料を請求させていただきます。視聴の場合も最後まで受講をしてください。授業の最後にチャットに視聴である旨の記入を行ってください。単位取得はできません。

受講料

受講料は分割払いができます。分割払いの方は受講がない月でもお支払いの義務が生じます。滞納の場合は、受講料とは別に遅延損害金を請求します。遅延損害金の発生は、分割終了予定月以降に発生します。受講料未納の間はディプロマは発行されません。滞納が一定期間を超えると受講停止措置となり授業に参加できません。規約は入学契約書と免責同意書および受講同意書に基づきます。

契約書類

入学者には契約書と受講同意書を書類到着後2週間以内に必ず提出してください。契約書作成時には、身分証明書の写し（表裏）を提出してください。詳しくは同紙の2を参照してください。

初回受講

対面授業における入学日（初回の対面授業受講日）は、契約書の授受後の土日を除く3営業日前までにメールおよび問い合わせフォームからの予約が必要です。初回受講日にはメールで送られてくる受講許可証を必ず持参してください。受講許可証がない場合は講座に参加できません。また初回のみならずご受講の際にはカレンダーからも予約を入れてください。

退学・休学・受講停止

事務局に書面で申出ることで退学が出来ます。受講料の返還は出来ません。医師の診断書がある場合は休学ができます。受講料を分割払いで支払い、滞納があった場合は、受講停止措置を取ります。なお、生徒都合により退学する場合は、支払い済みの受講料は戻りません。未払いがある場合は、受講回数に応じて請求します。受け終えた授業分の受講料１授業につき17,000円（税込）と事務手数料33,000円（税込）を請求します。退学を希望する場合は、必ず事務局に連絡をして退学手続きを行ってください。退学手続きを行わず受講料の滞納がある場合は、遅延損害金並びに請求手数料を申受けます。規約は入学契約書と免責同意書および受講同意書に基づきます。

単位認定用紙

対面授業の単位の計算は、単位認定用紙で行います。紛失すると単位認定が困難になり、単位の採り直しには再度受講料が必要です。詳しくは同紙の6を参照してください。単位認定用紙を紛失し、退学を希望される場合は受講回数の確認ができないためコース料金残額をお支払いいただきますのでご注意ください。

講座の乗り換え

どの講座も途中で他の講座を追加し、乗換ができます。すべての単位を積算し、最終的にRYT500がとれるようになっています。ただし、これまでの講座をキャンペーン価格で申し込んでいる方は乗り換え対象外となる場合があります。また乗り換え時のキャンペーンが適応できない場合があります。事務局までご相談ください。

受講猶予

最初の入金を確認した日（着金日）を申込日とし、この日から3年を受講猶予期間とします。入学手続き後にお送りする受講許可証（個人登録情報）に基づいてください。3年にすべての受講（受験を含む）と課題提出を含みます。※受講猶予3年はサービスの一環です。3年間の受講期間を保証したものではありません。※通常とは異なり特別の受講猶予を儲けたコースがありますのでご注意ください。2026年7月より対面授業のコマ数の減少により受講猶予に余裕のない方にお

いては最大6か月の猶予を延長させていただきます。お問い合わせください。

受講猶予延長

受講期間満了日までに、別途受講料を支払うことで受講期間を延長することが出来ます。1週間までの延長34,000円（税込）、1週間以上1ヶ月未満68,000円（税込）、1ヶ月～半年　102,000円（税込）、半年～1年　170,000円（税込）です。受講期間（受講猶予）内に講座を修了（受講修了・卒業試験・課題提出）する必要があります。延長の申し込みは、本来の受講猶予期間内に申し出てください。本来の受講猶予を過ぎると受付が出来ません。

乗換の場合の受講猶予

乗り換えを行った場合、大きい方の講座の受講猶予が適応されます。
※乗り換えが出来ない講座の組合せもあります。（例）RPYT 受講料を支払い、RPYT を開始し、その1年後に RYT500 の受講料を支払い、RYT500 に乗り換えをした場合、RPYT を含む受講猶予は、RYT500 の最初の入金を確認した日（RYT500 への差額分を着金した日）から3年に更新されます。（例）ヨガビジネス受講料を支払い、ヨガビジネスを開始した。その3か月後に RYT200 受講料を支払い、RYT200 への乗り換えをした場合、RYT200 受講料の最初の入金を確認した日（RYT200 への差額分を着金した日）から3年に更新されます。（RYT200 の一部として、ヨガビジネスの受講期間も延長されます。）

遅刻早退（オンライン授業を除く）

30分単位で単位を認定します。10分～30分遅刻の人は、認定紙に－0．5時間と記載します。30分～60分遅刻の人は認定用紙に－1単位と記載します。後日－単位分を取得した場合は、二重線で取り消し、上に押印します。

※授業の開始30分以内に参加者がいない授業においてはその時点で閉講になります。ご参加になる方は、開始30分以内にご参加いただきますようお願いいたします。

遅刻早退時の単位の穴埋め

どのDAYを受講しても構いません。途中退場が出来ます。－0．5だけを穴埋めする場合には、30分を超えて滞在することは出来ません。足りない時間数以上の滞在には、別途受講料が必要です。

補講

ディプロマ、受講認定用紙のいずれかの確認によって、該当講座の卒業必須単位を受講する権利のある者、またはその卒業生は、補講は何度でも受け放題です。（※制度終了まで）※RYT500の受講生であってもRPYTやRCYTを選択していない方は該当の補講には参加できません。

補講においても30分単位で単位を認定します。単位を取得するか否かは選択できます。取得の有無は、単位認定用紙の提出時に申し出てください。

補講は、単位取得に関わらず、自主学習や予習復習のために参加することも可能です。押印時は、「補講」とだけ記載し押印します。単位を破棄する場合は、単位認定用紙には何も記入しません。

ご参加は開始30分以内にご参加ください。1時間を過ぎた時点で受講生がいない場合は、その時点で閉講します。

受講猶予を過ぎた補講では単位認定ができません。オンライン授業は30分単位の認定はできないため単位認定を希望する場合は最後までご受講ください。

卒業試験

試験では、試験者がインストラクターになり、15分程度、生徒にクラスを提供します。RYT200やRPYTやRCYTは、実技試験を最後の受講日から数えて3授業日内の実技の授業で行います。

通常授業時に、卒業試験だけを受けることはできません。試験日当日の授業開始前に担当講師に卒業試験申込書を提出する必要があります。事前の予約は不要です。※申込書の書式は最終項にあります。合否は担当講師がその場で判断します。

※卒業試験を補講およびオンライン授業で受講することができるようになりました。オンライン授業で受験する場合は試験申込書は課題

郵送時に同封ください。また、試験免除として15分の指導実演を録画して提出することも可能です。

※補講で試験を受ける場合はRYT200であれば実技29単位が終わるまでに受けてください。決められた単位を超えてしまった後の補講で受験する場合は17,000円（税込）が必要です。この場合には事前にお申込みとお支払いが必要です。

1. 卒業試験申込書の提出

   学校の手引き末頁にフォーマットがありますので、記入をして試験当日の授業開始時に担当講師にお渡し下さい。オンライン受験の場合は申込書の講師コメント欄は未記入でかまいません。

2. 10～15分の指導試験

   シークエンスの最中にどのタイミングで指導をお願いするかはわかりません。シークエンスの前後の流れに沿うように指導を行ってください。指導メニューは事前に準備をするなど、臨機応変に対応できるように準備してください。含まないといけない項目などは決まっていません。また、担当講師の声掛けに従って開始・終了してください。

3. 評価ポイント

   ・シークエンスの進行が理解でき臨機応変に指導できたか。

   ・身なりや立ち振る舞いが指導者として適正であったか。

   ・時間配分やメニュー構成が適正であったか。

   ・アシスト・アジャストが適当かつ安全に行えたか。

   ・指導のバトンタッチが行われた時、それまでのシークエンスに自然とつながるシークエンスであったか。

4. 合否

   試験後の担当講師のコメントをもって合否発表とします。不合格の場合は再度別日に試験を申し込んでください。試験申込書は課題と一緒に郵送してください。

卒業課題

各講座に卒業課題があります。課題は入学時から取り組むことができます。卒業課題の詳細は、学校の手引き(同紙8)を確認してください。課題内容は不定期で入れ替えを行います。課題提出時には、受講認定用紙(原紙)を忘れずに同封し、事務局へ普通郵便で郵送してください。※宅急便・簡易書留などは受け取れないので使わないでください。

単発受講 (ドロップイン)

単発授業は受講料を事前に支払うことで参加できます。

課題免除

各講座には課題免除制度があります。詳しくは同紙８をご確認ください。制度の申込には事前のお手続きが必要です。

ディプロマ

修了済みの全ての受講認定紙と、課題がある場合は課題一式を事務局に普通郵便で郵送してください。提出物に問題がなければ、通常1週間程度で発送します。提出物は返却できません。ご自身でも提出物のコピーを保管されることをおすすめします。

全単位取得かつ試験終了後かつ受講料全額お支払い後に課題や受講認定用紙をまとめて郵送してください。※課題だけを先に送ることはできません。先に送られた場合はご返送いたします。

持ち物

受講認定用紙とRYTやRPYTやRCYTは必ずテキストを持参してください。PDFテキストの場合は各自印刷するか、タブレットなどでテキストが見れるように準備をしてご参加ください。準備のない方はご受講いただけません。また、講座内でコピーを配布したりテキストをレンタルすることはしていません。

各講座に必要な持ち物があります。詳しくは同紙の4を参照してください。

教材

RYTやRPYTやRCYTのご入学時にテキストをPDFデータで配布いたします。※エコ活動の一環として冊子テキストの無料配布は2026年3月で終了します。ご希望の方には冊子になったテキストを購入することが出来ます。ビジネス講座においては配布資料やプリントなど教材一式は、必ずしも授業内で使用するものではありません。おなじDAYでも配布する資料が異なる可能性があります。詳しくは同紙の3を参照してください。※RYTに2024年以前にご入学の方には2024年テキストはデータで配布しています。ご一報ください。

他校行き来制度

他校を受講することが出来ます。(例)東京校所属であっても出張先の神戸で神戸校を受講することができます。

休校・途中閉講措置

休講や途中閉講の判断基準は、講師ならびに生徒の大半が問題なく登校ができ、講師および生徒が問題なく帰宅できることです。

1. 台風などの自然災害

東京校(東京都千代田区)名古屋校(名古屋市西区)神戸校(神戸市中央区)福岡校(福岡市南区)に、各授業(RYTは実技と座学それぞれ)の120分前に特別警報、避難指示、避難勧告が発令されている場合(※1)は、休講や途中閉講を決定し、オフィシャルサイトの最新のお知らせページにて告知します。

講師陣にはLINEにて告知いたします。授業中に発令された場合は、下記2を踏まえた上で講師が途中閉講を判断します。警報や注意報などが発令され、要注意状態にある場合は、授業中であってもインターネット、スマホなどを使って定期的に予報や交通情報を取得してください。事務局が授業継続の危険性を判断した場合には速やかに講師に連絡を取ります。

(※1)インターネット検索によるyahoo!天気を元に判断します。
https://weather.yahoo.co.jp/weather/

避難指示や避難勧告の発令については、土砂災害指定区域などに限定して発令しているケースがありますので、発令の詳細ま

で確認してください。警報・注意報のみの発令であれば開講する場合があります。

2. 公共交通機関の遅延や運行取りやめ

公共交通機関の遅延や運行取りやめにより講師が登校できない場合は休講となります。尚、状況によっては遅れて開講する場合もあります。授業中であっても、帰宅時の交通機関が確保できなくなる可能性がある場合は、講師の判断のもと途中閉講を決定します。要注意状態にある場合は、授業中であってもインターネット、スマホなどを使って定期的に予報や交通情報を取得してください。事務局が授業継続の危険性を判断した場合には速やかに講師に連絡を取ります。

3. 講師の体調不良やアクシデント

講師の体調不良や予期せぬ事態が発生した場合は休講になります。授業中であっても授業が存続できない事態となった場合は、途中閉講とします。

・告知方法と告知のタイミング

告知は出来る限り早い段階で公式ラインにて行います。

公式ライン

@ayabody

見学説明会

見学説明会を開催しています。参加者は事前の申し込みが必要です。Zoom でのリモート説明会も行っています。

録画・撮影

受講生は、授業の録画（録音）や撮影ができません。生徒や講師のプライベートな写真撮影は可能です。講師や学校関係者においては、授業風景などの撮影許可を取る場合があります。許可を頂いた方の画像を使用させていただくことがあります。

所属講師

当校所属の講師は、講座の担当外である者も、授業見学やアシスタントなど、業務の一環として授業中に出入りを行います。

モラル

ゴミは持ち帰ってください。充電はしないでください。共有スペースはモラルをもって使用してください。

レンタルスタジオ

レンタルスタジオで授業を開講する場合、不測の事態により開錠できない等のトラブルが発生した場合は速やかに別日での開催を予定します。また、座学などスペースを要しない授業の場合は急遽近隣のカフェ等を利用する可能性もございます。

2

契約書類

入学契約書

講座のお申し込み後、契約書を2部作成します。1部は事務局への提出、1部は本人の控えです。無くさないように保管してください。

免責同意書及び受講承諾書

講座のお申し込み後、2部作成します。1部は事務局への提出、1部は本人の控えです。無くさないように保管してください。事務局からメールで送られてくる登録内容を同意書に記入してください。※住所記入の際は、郵便物が届く住所にしてください。同意書内容で登録を行いますので、登録内容に変更がある場合は必ず事務局に申し出てください。登録内容に間違いや漏れがあると緊急連絡ができません。またディプロマ発行が困難になります。

身分証明

保険証、運転免許証、パスポートなどの写しを1部提出してください。証明証は裏表が必要です。登録情報に変更があった場合は必ず申し出てください。

提出期限

上記書類を受け取り後2週間以内に返信用封筒で送り返してください。

3

教材

配布教材

RYTやRPYTやRCYTでは、在校生を対象に各講座の生徒用冊子（以下教材と呼ぶ）を入学時もしくは、教材の更新時に各1部配布します。※エコ活動の一環として冊子テキストの無料配布は2026年3月で終了します。2026年4月以降にご入学の方にはテキストはPDFデータのお渡しとなります。希望者は冊子テキストを購入することが出来ます。ビジネス講座においては各講師が作成した資料やプリントを使用することがあります。

RYTやRPYTやRCYTの授業の際は必ずテキストを持参してください。PDFテキストの場合は各自印刷するか、タブレットなどでテキストが見れるように準備をしてご参加ください。準備のない方はご受講いただけません。また、講座内でコピーを配布したりテキストをレンタルすることはしていません。

教材価格

在校生および卒業生価格です。

RYT200座学/実技　各5,500円（税込）

RPYT座学/実技　各5,500円（税込）

RCYT座学/実技　各5,500円（税込）

※ヨガアライアンスの改定に伴い2024年にカリキュラムが一部変更および追加になります。その際には2024年以前の入学者の方には新しいテキストはデータで配布いたします。希望者には特別料金で購入も可能です。2024年までの入学者はRYT200の必須単位は48単位です。RYT500の必須単位は111単位です。これを超えることはできません。

4

持ち物

RYT200 座学　・・・・　ヨガマット、教材

RYT200 実技　・・・・　ヨガマット（バスタオル、ブランケット、スキッドレス等の代替品は不可）、ストラップ1個（ヨガベルト）、ヨガブロック1個、教材

RPYT　・・・・ヨガマット、ストラップ1個（ヨガベルト）、ヨガブロック1個、教材

RCYT　・・・・ヨガマット、教材

これらを忘れた場合適切に授業をお受けいただくことができません。

必ず持参いただきますようお願いいたします。

単位認定用紙 5

単位認定用紙

単位の計算は単位認定用紙で行います。対面授業では授業のたびに1単位分の押印をして単位認定をします。2026 年 10 月から1授業で 2DAY 分カリキュラムが進む場合は 2 単位としてカウントすることもできます（オンラインを除く）。単位認定用紙は、複数枚になる場合も、紛失しないように管理をしてください。紛失した場合は受講回数を確認できませんのでコース料金全額お支払いいただきます。発行した受講認定用紙は、ディプロマと引き換えになります。

オンラインだけで全必須単位を取得するコースの入学者ついては単位認定用紙は発行しません。

1. **RYT200単位認定用紙**

   RYT200/500受講生対象。

   RYT200/500の単位として、ヨガビジネスを受講する時は同紙を使用。

2. **RPYT単位認定用紙**

   RPYT受講生対象。

3. **RCYT単位認定用紙**

   RCYT受講生対象。

4. **ヨガビジネス単位認定用紙**

   ヨガビジネス受講生対象。

5. **オンライン授業**

オンラインおよびアーカイブ学習の受講回数は無制限ではありませんので各講座の必須単位以上のご受講はできません。受講回数が必須単位数を超えないようにご自身でカウントしてください。補講およびアーカイブ座学見放題を覗いて追加料金が発生します。

記入と押印

講師が記入押印したものは如何なる理由をもっても書き直しが出来ません。受講認定用紙は、講座数によって複数枚になっても構いません。

単位の調整　※オンライン授業を除く

どのDAYを受講しても構いません。途中入場、途中退場が出来ます。－0．5だけを穴埋めする場合には、30分を超えて滞在することは出来ません。足りない時間数以上の滞在には、別途受講料が必要です。遅刻や早退の埋め合わせのため、受講する場合は、マイナス記載を取り消します。－1時間の埋め合わせのため、3．5時間出席した場合の記載は、2．5時間分は、単位として生かすことが出来るので、－1の記載を取消し、本日分の記入・押印（時間数（－0．5）を記載する）を通常通り行います。

※2020年5月から対面授業の参加者数が少なくなっておりますため、授業の開始30分以内に参加者がいない授業においてはその時点で閉講させていただく可能性があります。ご参加になる方は、開始30分以内にお見えになりますようにお願いいたします。

補講時の押印

ディプロマもしくはテキスト（冊子）持参により在校生、卒業生であることが確認できた場合、該当講座の補講は何度でも受け放題です。ご受講時にはディプロマおよびテキスト（冊子）をご持参ください。※制度終了まで。開講時間内は、30分単位で単位を認定します。単位を取得するか否かは選択できます。単位取得に関わらず、自主学習や予習復習のために参加することも可能です。押印時は、「補講」とだけ記載し押印します。単位を破棄する場合は、単位認定用紙に何も記入しません。

課題免除の押印

単位認定用紙の備考欄に「課題免除」と記入し押印します。

他校受講回数

他校受講時の回数に制限はありません。

6

ワンコインレッスン（休止中）

ワンコインレッスンとは

神戸校では、生徒や一般の人が受けられる500円(税込)レッスンを授業時間内に実施しています。養成講座の生徒が一般の人に教える、インストラクターの職業体験が出来ます。職業体験をする、しないは受講生の任意です。内容は講師と相談をしてください。実施日はウェブサイトから見ることができます。

ワンコインスケジュール　http:www.aya-bodyarchitecture.com

目的

指導者としてのモチベーションを育成し、現場経験を積むためや、仕事体験のために行います。一般者に学校を知ってもらい、ヨガの普及活動の一環とします。ワンコインで得た売り上げは、生徒用の教材購入にあてています。

参加

レッスンは45～60分を目安に行います。在校生が受講中以外で参加する場合や、卒業生や友人や家族が参加する場合には参加費が必要です。ヨガマットは、数に限りがありますが、参加者は先着順で無料利用ができます。

役割

講師や受講生の役割は、講師の判断の元、生徒の適正や、授業の構成に応じて調整をします。生徒の適正に見合わない実践を強要することはありません。生徒個人の意欲を尊重しています。

受付

ワンコインレッスンの参加者は、同意書への署名が必要です。また、妊婦の場合は、任意ではありますが母子手帳の確認（妊娠経過の確認）をさせていただきます。受講に安全性が確保できないと講師が判断した場合は、参加できません。在校生や卒業生も一般参加することが出来ます。

7

単発受講 （ドロップイン）

単発受講とは

全ての講座は、受講料を事前に支払うことで1クラスから参加できます。参加者は、在校生のみならず、一般の人も対象です。1授業17,000円（税込）は、事前のお支払いをお願いしております。受講猶予期限は設けていません。

入学契約書と免責同意書及び受講承諾書 （在校生以外）

これらの書類は単発受講を受ける全ての人に必要です。受講日までに事務局に提出してください。同じ講座を2回以上受ける場合は、その度に書類を作成する必要はありません。（例）RYT200受講生が、RPYTを単発受講する場合は、契約書と同意書が必要です。

身分証明書類

身分証明書類の写しの提出は任意です。

単位認定用紙

全講座1コマずつ申し込んだ受講生に、単発受講用の単位認定用紙を配布します。

課題免除として

RYTの必須受講回数に追加する形で、さらにクラスを2つ受けることで、RYT200の卒業課題であるレポート作成が免除されます。

ボランティア課題であればクラスを3つ申し込むことで免除されます。課題免除のための受講は全ての講座から選択できます。入学時期に関係なく全ての受講生が対象です。課題免除を申し込む場合は、事前に事務局にお申込みください。

教材

冊子（教材）の該当ページを印刷して配布します。教材（冊子）は配布しません。

8

卒業課題

●RYT200 ディプロマが欲しい人

RYT200 の必須修了課題は2種類（ボランティアとレポート両方）あり、課題免除を選ぶことが出来ます。48単位が確認できる単位認定用紙と共にまとめて提出してください。

1. ボランティア8時間以上

ボランティア先で、担当者のサインと印鑑（社印等、施設が確認できるもの）をもらってください。証書のフォーマットは指定しません。ボランティアとは、無償で組織や団体へ出向き、提供するものを言います。ボランティアの主催は受講生複数でも構いません。ボランティア先に困る場合は、課題免除をお申し込みください。

これまでの実施例： A老人ホームでの健康体操の実施、小学校PTAに対して体育館でのヨガ体験、自分が勤める会社内でスタッフを集めてヨガを提供、障害者支援施設で簡単な体操とヨガのお話会など。

ボランティアの意義
「なぜボランティアを課しているのか」を知った上で取り組んで欲しいと思います。意図としては、①ボランティアで場数を踏み、経験値を養う②インストラクターの顔を売る（営業活動）③面接やオーディション対策⑤シンプルに無償の活動で得る充実感や自信、等があります。在校している間からインストラクター活動を初めておくことで、卒業後すぐに「役割」を見出すことが出来ます。そして、講師は在校している間にしか受講生をサポートが出来ません。在校中に現場に立ってもらい、ヨガインストラクターを実感してさらに深まる疑問や不安にも答えたい、という考えです。事実、ボランティア経験からお声がかかり、指導の仕事を得ているケースを多く見ます。ボランティアは営業活動でもある、と考えています。本気で取り組んでください。必ず為になります。

・ボランティアの課題免除　「ビジネス講座の資格取得も目指せる」

ボランティア課題を免除することができます。そのためには必須単位＋3 授業を受講し、課題免除のための単位認定用紙の原紙を、レポート提出時に同封してください。 ※別途事前の申込や受講料（17,000 円×3）が必要です。※受講時は、課題免除の ための受講である旨、講師に申告してください。 （2018 年 5 月 30 日開始） ※ボランティアと課題免除の組合せの場合は、 3 時間を 1 授業として換算します。 1 時間のボランティアを課題免除にする場合でも 1 授業を受講する必要があります。 申込：http://www.aya-bodyarchitecture.net/contact_s/

2. レポート5800字以上もしくは受講　(1か2のどちらかのテーマを選ぶ。)

1. ヨガインストラクターとして独立すると仮定し、社会的自立のプランやケーススタディ等の指針をレポートとして作成してください。
2. あなたが予想する将来のヨガの推移について述べてください。ヨガのブームや期待される有用性や社会現象など。
   ※レポートは、ワード等PCでの作成をお願いします。

・レポートの課題免除　「ビジネス講座の資格取得も目指せる」

レポート作成に困る場合は、課題免除をお申し込みください。必須単位＋2授業を受講し、課題免除のための単位認定用紙の原紙をレポート提出時に同封してください。※別途申込や受講料(17,000円×2)が必要です。受講時は、課題免除のための受講である旨、講師に申告してください。申込:http://www.aya-bodyarchitecture.net/contact_s/

●RYS300ディプロマが欲しい人

RYS300の必須修了課題はありません。
RYS300のディプロマを申請する場合には63単位が確認できる受講認定用紙を提出してください。

RYS300のディプロマを取得後、RYT500をご自身で申請される方が対象です。当校からはRYT500の許可は出せません。あくまでご自身でヨガアライアンスに登録をしてください。ご自身でアライアンスに登録するのは大変難しいのでRYS300コースの方はRYT500の課題を提出されて登校からRYT500ディプロマを得られることをお勧めします。RYT500を得るための課題は以下●RYT500ディプロマが欲しい人を参照ください。＜重要＞RYS300コースでRYT500ディプロマが必要な方はRYT500の課題の送付時にRYT200を取得されたIDの写し(プリントアウトしたもの)を同封してください。ヨガアライアンスのサイトからダウンロードができます。RYT200卒業校のディプロマでは認定できません。

●RYT500ディプロマが欲しい人

RYT500の必須修了課題は3種類の内から1つを選び、111単位が確認できる単位認定用紙と共にまとめて提出してください。

※当校のRYT500は、課題を行う自習時間も含め累積400時間と算出します。
RYT500取得には残りの100時間をRYT500課題として別途提出ください。
下記のどれか1つを選択し、課題は受講期間内に必着するように提出ください。

1．レッスン

ヨガインストラクターとして独自のヨガプログラムを3タイプ構成し、それぞれのレッスン風景を撮影してください。生徒の内容、人数、場所は問いません。
・各レッスン時間は60分～90分
・ご自身の姿が確認できるように映像を録画しデータを記録してください。
再生できるように確認の上、DVD-RおよびUSBで提出してください。

2. 就業証明

ヨガインストラクターとして就業されている場合は、就労先・勤務内容が明らかになる形状で、勤務時間の累積リストを作成し、50 時間を超える証明を提出ください。
就労先担当者のサインと押印が必要です。
また、個人インストラクターとして独立している場合は、活動の証明ができるもの（パンフレットやウェブサイト等）を同封の上、累積 50 時間の内訳リストを提出ください。
フォーマットは問いません。

3. 課題免除　「ビジネス講座の資格取得が目指せる」

課題免除として、5 授業受講してください。講座は好きなものを選べます。ビジネス講座の資格取得が目指せます
課題送付時に課題免除でお受けになった単位がわかる受講証明用紙の原紙を提出してください。※別途受講申込と受講料が必要です。
申込：http://www.aya-bodyarchitecture.net/contact_s/

●RPYT や RCYT のディプロマが欲しい人

RPYT/RCYT の必須修了課題は1種類です。1か2のどちらかを選んでください。RPYT は 25 単位が確認できる単位認定用紙を、RCYT は 28 単位が確認できる単位認定用紙と共に提出してください。

1. ボランティア

各講座に即した45分～60分のシークエンス（ヨガプログラム）を準備し、一般の対象者へ無償で提供してください。提供場所や対象者数は限定しません。ただし、提供者は友人や家族、親族を除きます。あくまで社会貢献として自己責任の上、知識や経験を提供してください。提出物として、実施後に各体験者のアンケート（アンケート用紙は各自でご準備ください。）と、自己の感想文（A4 一枚程度）の2部が必要です。
※各受講生が行う無償ヨガ提供（卒業課題含む）については当校講座外自習です。当校は一切の責任を負いませんので、自己の判断においてカリキュラム、開催場所、対象者を選択ください。

2. 課題免除

ボランティア課題の免除として 2 授業以上受講してください。講座は好きなものを選べます。課題免除のための単位認定用紙の原紙を、レポート提出時に同封してください。※別途事前の申込や受講料(17,000 円×2 が必要です。※受講時は、課題免除のための受講である旨、講師に申告してください。
申込：http://www.aya-bodyarchitecture.net/contact_s/

●それぞれの課題提出方法

上記の課題終了後、AYA BODY ARCHITECTURE 事務所宛に、課題と単位認定用紙の原紙と卒業試験受講申込書の3種類を事務局へ投函型郵便で送ってください。宅急便は不可です。
課題の合否のご連絡と共に、ディプロマを郵送いたします。必ず氏名はローマ字で記入してください。不足がある場合はレポートを返送しますので、再度訂正追加し提出し直してください。必ず受講猶予期間内に課題の必着とディプロマ受理をしてください。受講料全額お支払い後にご送付願います。

提出先

兵庫県たつの市新宮町馬立５０（本店・事務局）
AYA BODY ARCHITECTURE 証明書係　宛

卒業試験について

試験では、試験者がインストラクターになり、15分程度、生徒にクラスを提供します。RYT200やRPYTやRCYTは、実技試験を最後の受講日から数えて3授業日内の実技で行います。補講で試験を受ける場合はRYT であれば実技24単位を終えるまでに行ってください。24単位を超えてからの受験は有料の延長制度をお申込みいただく必要があります。通常授業時に、卒業試験だけを受けに来ることはできません。試験日には、受講生は、授業開始前に、卒業試験申込書を提出する必要があります。詳しくは、9ページをご確認ください。

新型ウィルスに対する試験措置について

2020年5月以降、新型コロナウィルスへの懸念から対面授業からオンライン授業へ切り替えられる方も増えております。卒業試験を対面授業で受けられない方については、15分の指導実技を録画して提出することで卒業試験の免除が可能です。指導している姿がはっきりと見えるように録画してください。生徒は1名以上が必要です。動画は卒業課題の提出時に、他の提出物と合わせてご郵送（USB・DVD）ください。データメール便で画像を送る場合は課題送付時にタイミングを合わせて事務局メールで送ってください。郵送物についての返却は不可となります。※一時的に補講での試験受講も可能となっています。

新制度　課題スキップ制度 「とにかく忙しい方向け」

「RYT200 のレポート課題とボランティア課題」「RYT500 課題」をスキップする制度を導入しました。どちらも50,000円（税込）でお申込みいただくことができます。任意ですが卒業後の補講を2回以上ご参加くださることを条件とします　お申込：http://www.aya-bodyarchitecture.net/contact_s/

フォーマット

9

※卒業試験を受ける方

卒業試験受講申込書

日付	年　月　日	*時間*	時　分 ～　時　分
受講生番号	*受講猶予*　年　月　日		
講座名			
受講済回数			
講師記入欄	・シークエンスの進行が理解でき臨機応変に指導できたか。 □ ・身なりや立ち振る舞い(声の大きさ)が指導者として適正であったか。 □ ・時間配分やメニュー構成が適正であったか。 □ ・アシスト・アジャストが適当かつ安全に行えたか。 □		
	特によかった点　：		

卒業試験は、残す受講が3回（RYT の場合実技3回）以内の通常授業内で実施します。

卒業試験について、講座の習得を確認するため行います。

試験の目的を理解し、参加を申し込みます。

また、合格不合格を真摯に受け止め、更なるヨガの習得を目指します。

年　月　日　署名

RYT200 ボランティア課題 1 時間分免除をご希望の方

グーグルのコメントを書いてヨガを発信。ヨガを知らない人へ安心感を届けよう！

手順

グーグルで「アヤボディアーキテクチャー神戸校/名古屋校/東京校/福岡校」と検索。※東京校の場合は東京校、神戸校や福岡校もそのように入れてください。

そうすると画面はこんな感じ。↓

必ずコメント記入後はコメントがわかるスクリーンショットを撮ってください。郵送の場合はプリントアウト、もしくは画像を事務局へメールでお送りください。　info@aya-bodyarchitecture.com

ここにコメントをお願いします。
コメントくださった方には、アヤボの代表が返信のコメントを入れさせていただきます。

・・在校生・卒業生の特典・・

コメントの記入をいただきました方には、プロップスのレンタルを３回無料とさせていただきます。コメントの画面を担当講師にご提示ください(^^♪

ボランティアおよび就業証明用紙（見本）

開催日時	２０２４年 6月２５日				
開催場所の名称	ABC ディサービス				
参加者数	１０名				
所要時間	1時間				
参加者代表サイン（押印）					
内容	高齢者のディサービスで椅子に座ったままのヨガを指導した。呼吸の話やヨガの話もさせてもらいヨガに興味を持ってもらえた。				

※これは見本です
※必要枚数提出ください

卒業生アンケート

個人情報

氏名 :

記入日 :　　受講講座名 :

受講後の感想を教えてください

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
カリキュラムの内容	☐	☐	☐	☐	☐
受講システム・受けやすさ	☐	☐	☐	☐	☐
講師の指導力・態度	☐	☐	☐	☐	☐
モチベーションを保てたか	☐	☐	☐	☐	☐
ヨガをもっと好きになったか	☐	☐	☐	☐	☐
ヨガを教えることに対する興味	☐	☐	☐	☐	☐

良かったところ :

要望:

メッセージ :

ご注意

※プロィール画像を提供いただける方に限ります。画像は info@ayabodyarchitecture.com に課題提出前後1週間以内にお送りください。アンケートや画像はウェブサイトなどに使用させていただきますことをご了承ください。

※卒業課題を送付いただく際にご協力いただける方はこのアンケート用紙も同封ください。
お一人１枚でお願いします。

10

受講証明書

※単位引き取り制度を利用する方

私は、下記スクールにて以下のクラスを受講したことを証明します。
単位の引き取りは AYABODYARCHITECTURE の設定する条件を元に行うことを承諾します。
内容によっては単位の引き取りが出来ないことを承諾します。

スクール名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

該当講座に ○をつけてください	RYT200 RYS300 RYT500 RPYT RCYT その他
クラスの名称	
日時	年　　月　　日
所要時間	時間　　分
講師名	
クラスの内容	
スクール担当者のサイン もしくはスクール印 ※必ずサインか印をもらって来てください。	

日付：　　年　　月　　日
氏名：　　印
単位引き取り希望の講座名：
ＩＤ：
住所：〒
電話番号：
メールアドレス：
※足りない場合は証明書を複数枚提出してください。

行動規範 11

クレームやご相談について

学校運営、講師や生徒についての苦情やご相談は下記までお願いいたします。私たち審査機関ができる限りの事実確認を行い、皆様を取り巻く環境改善に努力いたします。公平な事実確認のため、関係者ならびに二次的な関係者の皆様には聞き取りを行う可能性がありますのでご協力をお願いいたします。なお、必要に応じて専門機関に協力を仰ぐ可能性もございます。

苦情やご相談はより詳しくご説明ください。ご相談いただいた内容は個人情報として厳密に取り扱います。

・相談者のお名前
・相談者の連絡先（電話番号・メールアドレス）
・日時や場所
・同席者
・問題の内容

ハラスメントの禁止

従業員、教師、独立請負業者、学生など当社の関係者におけるハラスメントを禁じます。また、学校内や組織内のハラスメントを禁じ、それを確認した場合は退学や停学、または退社および減給などの対応を行います。
ハラスメントとは、ハラスメントは、人権侵害を意味しています。性別や年齢、職業、宗教、社会的出自、人種、民族、国籍、身体的特徴、セクシュアリティなどの属性、あるいは広く人格に関する言動などによって、相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけることを言います。

行動規範・モラル

私たちの行動規範は、よりよい生活を送るため、よりよいヨガライフを過ごすために必要不可欠なものです。当校所属の講師をはじめスタッフならびに生徒一同は、行動規範に従います。講師やスタッフは行動に統一された基準を採用することにより、ヨガ教師の誠実さを認識しながら、ヨガの教えを提供していけるように努力いたします。

・ハラスメントの禁止
・道徳観念　八肢束のヤマニヤマ
・当校同意書に基づく

報復行為の禁止

私たちは、ハラスメントを報告した、または報告すると脅迫したことに対して、いかなる人物に対しても報復をいたしません。より良い学校運営のための関係者からの情報提供は貴重です。私たちは違法行為を報告したものが報復を受けることを許しません。
また、当社関係者においてハラスメントや行動規範または法律への違反などのいずれかの調査や処分に対して、その情報の出元や調査機関に対して報復的行為をした物は法的手段を講じます。